

平成二十二(二〇一〇)年度 法学研究科博士課程前期2年の課程 入学試験問題(A方式)

(科目名) 労働法

第一問 就業規則による労働条件不利益変更における多数組合の同意の意義について、現行法の立場および判例の動向を踏まえ、論じなさい。

第二問 以下の三つの問題について、簡潔に論じなさい。

(一) 有期労働契約の期間満了による雇止めの可否

(二) 労働組合法上の労働者性

(三) 使用者の誠実団交義務の意義と根拠

以上